

## 企業、自治体によるグローバル・コンパクトへの取組みの実例

大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期3年 菅原絵美

### 1. 企業によるグローバル・コンパクト（GC）への取組みの実例

#### (1) 企業のGCへの参加（概要）

#### (2) 日本のGCへの参加状況

参加者数 58（敬愛大学国際学部、川崎市、56社）（2007年12月7日現在）

2007年7社の参加（大阪ガス株式会社（6月）、株式会社CSKホールディングス（6月）、株式会社ニコン（7月）、株式会社タムロン（8月）、ピーティーエス・コンサルティング・ジャパン株式会社（8月）、株式会社プロコン（10月）、株式会社三井住友フィナンシャルグループ（11月））

#### (3) 日本企業による取組みの実例（2007年）

##### a) Notable COPs プログラム

アンリツ株式会社、株式会社東芝

##### b) GC ビジネスケースストーリー

アサヒビール株式会社（2006年CSRレポート）

富士メガネ（①海外難民ヴィジョン・スクリーニング及び眼鏡寄贈ミッション

②国連難民募金箱全店設置）

##### c) GC ネットワーク・フォーカル・ポイント地域会合（アジア地域2007年4月2-4日）

富士メガネ（同上）

イオン株式会社（「トップバリュー」商品に関する取組み（イオンサプライヤーCoC など）、3Rs（リデュース・リユース・リサイクル））

富士ゼロックス株式会社（100%リサイクル・システム）

株式会社商船三井（災害支援）

王子製紙株式会社（環境行動計画21・原料のトレーサビリティの確保）

株式会社損害保険ジャパン（UNEP FI、エコファンド「ぶなの森」）

アサヒビール株式会社（バイオマスエタノールプロジェクト）

コスモ石油株式会社（地球温暖化防止への取組み、海外技術協力、コスモ石油エコエコカード募金）

日産自動車株式会社（国連との協働、南アフリカ日産・インド日産株式会社の活動）

##### d) GC リーダーズサミット(2007年7月5・6日)

富士ゼロックス株式会社（"Responding to Mega Trends Shaping the Future"）

### 2. 自治体によるグローバル・コンパクトへの取組みの実例

#### (1) 自治体のGCへの参加（概要）

GCへの参加自治体数 28（川崎市2006年参加）

2007年参加自治体（バスクタス、ニルファー（トルコ）、サルト（ヨルダン）、カルマル（スウェーデン））

GC シティプログラム参加自治体数 12（川崎市は未参加）

#### (2) 川崎市による取組みの事例

##### a) 参加前：企業等合同（産学連携）研修「CSRと地域社会（2003）」「グローバルコンパクト・川崎版を考えよう（2004）」政策課題特別研究制度（メルボルンへの視察）

「企業の社会的責任（CSR）の視点に立った持続可能な社会づくりを考える～全国に先駆けた『かわさき版コンパクト』の作成に向けて～（2006）」

##### b) 参加後：「かわさきコンパクト」作成・提唱（「グローバルコンパクト」の市内展開）

川崎再生フロンティアプラン（「環境分野における国際貢献」「協働のまちづくり」）

かわさき地球環境フォーラム、川崎グローバルコンパクト・フォーラムなどの開催